

住宅敷地内に不審者が進入しているのを町職員が発見し、声をかけようとしたところ、逃走したため警察に連絡。その後、不審者は駐在所員に職務質問等を受けたが違法行為が確認できなかったため、釈放。

自転車で帰宅する途中の女子中学生が停車中の車両に乗っていた男から「公民館の場所を教えて」と尋ねられた。その生徒は道順を教えたが、男から「よく分からないから車に乗って教えて」と言われたため、自宅まで逃げ帰った。なお、当該車両の立ち去り方向は不明。

5月24日、〇〇市の郊外で不審者(女性の前で自分のズボンを下ろす男)が出没しています。不審者を目撃した場合は、110番通報してください。

5月11日、〇〇市内に不審者(女装した中年男性)が出没。不審者を目撃した場合は、110番通報してください。

今年になって、安平町と近郊の都市で連絡があった情報です。



緊急避難の家の玄関は貼られているステッカー

子どもの犯罪被害防止に向けて

- 出かける時は、「だれと、どこへ、何をしに、いつ帰ってくるか」を家の人に伝えましょう。
- 一人で行動せず、友達と一緒にいるようにしましょう。
- みちくさをせず、暗くならないうちに家に帰りましょう。
- 知らない人や変な人に誘われてもついて行かない。
- 帰り道は、街灯がある、人通りの多い場所を選びましょう。
- 怖いと感じたら大声を出すか、公共施設や近くの家に助けを求めましょう。



追分地区で子どもサポート隊として活動している有志の方

に巻きこまれないか家庭や学校、地域で話し合うことが必要ではないでしょうか。

子どもを守る運動の広がり

追分地区では、学校の下校時に、児童の安全を守る「子どもサポート隊」を組織。さらに緊急時に逃げ込める家にステッカーを貼って子どもの安全対策を進めています。

また、安平の小学校区でも地元自治会などと連携を図りながら、下校時に「見送り隊」を結成。地域ぐるみでの活動を行っています。

このような動きの中、早来北町地区でも「児童安全パトロール隊」が作られました。「子どもたちの安全は、自治



北町地区児童安全パトロール隊長に就任した大野順一さん

会の会員皆さんが協力して守るといふ取り組みが重要です。地域に住む人たちとの連携がなくして悲惨な犯罪を防ぐことはできません。ぜひ多くの人の参加を」と大野順一隊長が賛同していただける方呼びかけています。

夏休み明けから本格的に活動を始めるそうです。

このように、児童や生徒を事件や事故から守り、不審者に対する警戒を強める意識が高まってきています。

意識の高まりが抑止力に

「犯罪者は、地域ぐるみで防犯に取り組んでいる町には入って来にくいんですよ」と話す太田所長。防犯用のステッカーを貼った車が町の中を走っているだけでも十分な効果が期待できるとのことです。全町挙げての活動が今後求められています。